

～実践を共有し「学びの環境整備」へつなげよう～

共同学校事務室・共同実施組織での『実践事例』を教えてください！

所属：甲賀市

甲賀市立学校運営共同実施
地域学校事務室

① 共同学校事務室・共同実施組織で行った業務改善



☆ 具体的な取組

ex.) ○○の平準化により、週あたり2時間生み出された など

【甲賀市全体として】

・6つの中学校区に地域学校事務室を設置しているため、運営は室によって異なる。月1回の室長会にて、各室の運営について情報共有を行っている。また学校運営共同実施企画検討部会（事務改善推進チーム）として、各室に割り当てている市内共通事務業務（財務・給与・徴収金・行事支援・文書情報・HP）について調整を図っている。

【水口中学校区地域学校事務室として】

・月1回の事務室会議、週1回のTeamsによる打合せ、事務室日誌によるタイムマネジメント（全員が予定としたことを書いて情報共有）、事務室経営案により、組織として業務を行っているという一体感を出している。
・今年度の重点目標は、「情報交換から一歩進んだ事務室経営～各校で室の高い事務を提供するために～」
簡単なワークショップを重ねながら、意識改革と同時に事務室としての業務改善に取り組んでいる。
・各業務に担当（リーダー）を決めて、リーダーを中心に業務予定の確認、情報共有、業務改善を進めている。
・年3回の学校長と室長による地域学校事務室連絡会、学校運営共同実施学校間連携部会（水口中グループ部会）働き方改革部会として教頭と事務職員の合同会議を行い、共通する業務についての連携強化を図った。

☆ 上記の取組により、どれぐらいの時間や効果を生み出すことができましたか

ex.) ○○の平準化により、週あたり2時間生み出された など

【水口地域学校事務室として】

・地域学校事務室連絡会や、学校運営共同実施学校間連携部会（水口中G部会）を地域学校事務室をリンクさせることにより、職階や経験年数に関係なく、どこの学校でも事務職員が学校運営に参画することができている。

② ①の業務改善によって『生み出すことができた時間や効果』を活用し 各校で取り組んだこと、取り組んでみたいと思うこと（学びの環境整備）

ex.) 地域との連絡・調整、充実した授業を行うための物品の発注・整理、職場環境整備 など

【甲賀市全体として】

・学校運営共同実施の構成メンバーは、校長、教頭、教務主任、事務職員、教委事務局職員である。各種会議には代表メンバーのみの出席ではあるが、学校運営上の課題を学校経営部門を担う多職種が同じ場で協議できる組織である。特に「学びの環境整備」については、企画検討部会校務支援推進チームとして教育委員会事務局、教務主任、事務職員と連携して統合型校務支援ソフトの導入、GIGAスクールによる教育系タブレットの整備を行ってきた。また、地域学校事務室を中学校区に設けているのは、旧学校事務共同実施時代に、「9年間の学びを支える」という目標のもと、小中連携・地域連携を中心に事務職員から発信してきたからである。事務職員が学校運営に参画できる組織作りはできたので、今後、各校、各地域学校事務室でもこの組織を生かして、事務職員が学校運営に参画し、学びの環境整備を図っていききたい。

【水口中学校区地域学校事務室として】

・甲賀市の重点である「小中連携・小中一貫推進事業」を、水口中学校区では、学校運営共同実施学校間連携部会と一体的推進を図っている。予算面はもちろんのこと、小中連携事業についても、「教職員交流会」、「中学体験入学」、広報作成、各会議の運営等に代表事務職員だけでなく全事務職員が関わっている。小中連携による学びの環境整備に、教員とともに取り組んでいる。
・今年度の目標である「各校での質の高い事務の提供」について、ワークショップを行い、定例業務から+αを足すことにより、すべての事務が教育環境を整備することにつながっていることがわかった。各自が実践している+αの業務を、属人的ではなく組織的に行えるように思案中である。

ご協力いただき、ありがとうございました。
考えや思いを皆さんで共有し、笑顔あふれる学校づくりのため、
チーム滋賀で頑張りましょう！

